

特殊報第3号

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県病虫害防除所長

平成 22 年度病虫害発生予察特殊報第 3 号について

このことについて、平成 22 年度病虫害発生予察特殊報第 3 号を発表したので、送付します。

1 作物名 水稻

2 病虫害名 イネ南方黒すじ萎縮病（仮称）

3 病原ウイルス名

Southern rice black-streaked dwarf virus（SRBSDV 仮称）

4 発生経過

2010 年 9 月、県内の水稻で株が萎縮、葉の変形等の症状が確認された。独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センターで同定した結果、SRBSDV（仮称）によるイネ南方黒すじ萎縮病（仮称）であることが確認された。

5 水稻の病徴

イネが生育初期に本病に感染すると、株が萎縮する。萎縮の程度は感染時期が早いほど激しい。葉は葉身および葉先がねじれ、激しい場合はらせん状となる。また葉色は濃くなり、葉脈が隆起する症状も見られる。

出穂期以後は、茎や葉鞘に黒すじが発生する。穂は矮化し、不稔や籾の褐変、上位節からの異常な分枝、止葉の小葉化などの症状が見られる。

6 伝染方法

本ウイルスはセジロウンカによって媒介され、レオウイルス科に属する。既知のレオウイルスは永続伝搬性であり、媒介虫の生存期間中は常時媒介されうるが、経卵伝染、汁液伝染、種子伝染および土壌伝染はしないとされている。

7 感染植物

飼料用水稲、主食用水稻のほか、トウモロコシ、イヌビエ、ミズガヤツリで感染が確認されている。

8 防除対策

- (1) 水稻の生育初期に本病に感染すると被害が大きいため、媒介虫であるセジロウンカに対して育苗箱施用剤を利用して生育期から防除を徹底する。なお、育苗箱施用剤は、本種に対する防除効果の高い剤を選定する。
- (2) 飼料用水稲では、「稲発酵飼料生産・給与マニュアル」（稲発酵粗飼料推進協議会等編）、「多収米栽培マニュアル」（農林水産省）等に沿って防除を行う。

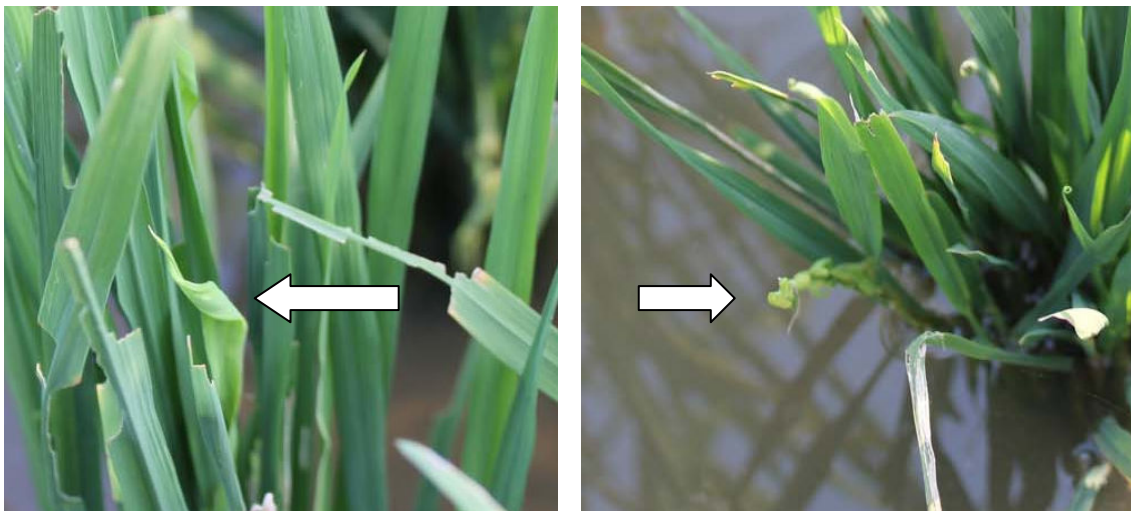


写真 イネ南方黒すじ萎縮病罹病株の症状、葉先のねじれ（左）とらせん状の葉（右）。
（九州沖縄農研センター撮影画像に矢印を挿入）